

## ご挨拶

### 辻 裕

(一般社団法人森林技術コンサルタンツ協議会 代表理事)



当協議会は、平成 21 年 6 月に発足して以来、「森林技術の開発・蓄積・普及および森林技術者の技術力の向上並びに行政等への提言を通じて国土の保全、森林・林業の発展に寄与すること」を目的として活動してまいりました。これまで、当会を支えていただきました関係省庁ならびに関係者の方々には、この場をお借りしまして厚く御礼を申し上げます。

さて、森林は、生物の多様性、環境保全や地すべり・土石流・山腹崩壊あるいは津波などの多くの土砂災害・水害を軽減・緩衝する公益的機能を発揮しており、温室効果ガスなどの人為的要因や、太陽エネルギーの変化などによる近年の地球温暖化やそれらに伴う気候変動に対して、森林の役割は非常に大きくかつ重要であります。

当協議会としましては、これら森林を維持・保全し、さらに育成・管理し、資源を絶やすことのないよう森林・林業の成長産業化政策の推進に合わせて、森林整備・保全計画の策定、および各種調査・測量・設計および施工管理・研究開発など森林技術に関する的確でかつ高度な技術を日々研鑽し続けております。

さらに、これから林業の成長政策としての位置付けにより、新しい経営手法や管理効率化に必要な整備・保全計画、新しい林業機械や ICT に対応した機材、システム等の開発、資源調査など、新しい森林技術の普及・導入や若手技術者の教育・養成も急務であると考えられます。

これらの社会的ニーズに幅広く対応すべく、公益社団法人森林保全・管理技術研究所と連携を強化し、また関連学協会・団体と協調して、新しい高度な森林技術の情報収集・研究開発や臨床実用化などの技術活動をさらに推進させるとともに、関係機関等への情報提供や提言、あるいはまた従来技術においても十分に的確に発揮できるよう、技術伝承や研鑽活動をさらに活性化させてまいり所存でございます。

皆様方におかれましては、今後とも当協議会の活動に対し、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。(平成 30 年 7 月記)